

広報さい

編集と発行 佐井村役場

(総務課)

電話 佐井 1. 45. 112

印刷 高金印刷

青森市沖館字篠田91

佐井観光音頭などできる

みんなで覚えましょう

一月七日佐井小学校講堂で約百人の観客をむかえ、佐井観光音頭などの発表が行なわれた。

この発表会では、佐井観光音頭、振付佐々木たつさん（本村出身旧性三戸）に感謝状が



た。アトラクションでは、婦人会による音頭、民謡の踊り一家（佐々木さん家族）のエレクトーン、ピアノ、アコーディオンによる演奏で幕を閉じた（写真は佐井村観光音頭発表会）

佐井観光音頭

作詞・作曲 吉田代策
補作 佐々木幸子

(一) 佐井のどこでもヨイ

うなばらは 昏れる夕日は チョイト
海原映えて 炎のほさま
ニシ波燃える なんと云おうか
エーソレソレソレ

みそひともじ 三十一文字じゃ、表わせぬ

(二) 女夫がつかけてヨイ
おとこの岩で沖に見えるを
ニシおんな岩 何処で会うのか
エーソレソレソレ

神の岩山 村公園
ほとけが浦に ヨイ
船でえごうか チョイト
タクシーにしようか
ニシテク アベック縫道石山
エーソレソレソレ

みそぎするなら 恥かしや

佐井村観光おんど

作詞補 吉田代策
作曲 佐々木幸子

さいのーどこでもヨー くれろゆーいは

チョイト うなばらーは えーまー はのーほ

のーさーまーに ニシなみーもえー

なんーとーいーおーが エーソレソレソレ

みそーぎ と も じーば あら れーせーぬ

縫道石山

a molli (1知調) **佐井村観光ブルース** 作詞 吉田代策
作曲 佐々木幸子
補作 佐々木幸子

Andantino
♩ = 70

さいのみなとーは こいもはーれーてー
とおいち らーホーラ またたくネーオン
あれはハコダテ あのこのこきおーうー こいのー
よなよーな キャンプにおーけーてー ああーののばれ
るやごしのよーるをきみいかばにーおわすー

佐井観光ブルース

- (一) 佐井の港は 今宵も晴れて
遠くチラホラまたたくネオン
あれはハコダテ あの娘の故郷
恋のよなよなキャンプに明けて
ああ惚ばれる 矢越の夜を
君如何に おわす
- (二) 想い下北 福浦馳せて
恋を育てた風風いとし
愛のちぎりは おんなの命
きつと嫁ぎますあなたの浜へ
ああ佐井国は 忘れられずに
恋しゆて泣けるのさ
- (三) てんりゅう
天龍かんのん 如来の道に
五百らかん像 造りて美し
なみかせしんぎ
佐井の洋風 神技か仏技
たれか名付けて 仏ヶ浦と
ああこの莊厳美 世紀を越えて
占り残して欲しや

佐井村観光新民謡 (民謡調) 作詞 吉田代策
作曲 佐々木幸子
補作 佐々木幸子

Andante
♩ = 69

ゆりのはな さくーおひなやーまーを
ヨー ー ー ー く だ り い ぶ り こ サ ン イ の
ー さ い ー ー も ハ ヨ イ ト サ ッ サ や ぎ し ヤ ク ウ シ ふ く う ら
フ ク ラ ああー ー ー い そ や う し た く ヨ
ー ー ー ー ー ゴ ー こ も エ ン ゴ の サ ー ー ほ と け お た ー ほ と
け ー た ー ー

佐井観光新民謡

- (一) 百合の花咲朝比奈山系をヨイ
下りや胆振鉦サンイの佐井も
ヨイイトサツサ
- (二) 矢越ヤクウシ 福浦フクラ
ああ磯谷 牛滝何処も
エンゾ語のサア
ほとけオタ 仏宇田
- (三) 射るは頼義 弓矢は飛んでヨイ
越えた岬を 矢越ととなえ
ヨイトサツサ
落ちた部落を 磯谷と呼んで
ああ佐井の歴史とヨイ
郷名語るでサア
おもしろしむべなりし
守護の本陣宮 八幡やしるヨイ
南部再建 古くは源氏
ヨイトサツサ
原田 磯谷に矢越もハチマン
ああ長後福浦ヨイ
いなり神社でサア
牛滝は明神祀る

昭和四十六年度

赤十字社員増強運動

毎戸に一人は赤十字社員に加入しよう

2月1日～3月31日

赤十字社が年に一回皆様のご協力をいただく「赤十字社員増強運動」を本県では二月一日から三月末日までの二カ月間を、もつぱら新加入社員の増加を目指して本運動を実施することになりました。

この運動は、皆さんが赤十字の精神と事業を理解し、毎戸が赤十字社員に加入して事業資金となる「社費」を納めていただく運動です。

赤十字社は、博愛と人道をかかげる国際赤十字の一員として、国民の中にあり、国民のために働いている民間の奉仕団体であり、人類の幸福と平和に寄与することを目的としています。

この運動については、皆さんが赤十字社業の趣旨に御賛同され、加入下さるよう奉仕者(委員)がお伺いされましたらよろしくお願ひします。

一、社員の社費について

今年四月一日から社員規則が改正になり、三百円以下の場合賛助金となりますので、三月末日までに切替え、これに加算し三千元になれば特別社員の称号が贈られます。

◎特別社員とは(左の金額は四十六年四月一日から三倍になります。)

- 銀色社員 一時金三千円又は三百円を十回納入
- 金色社員 一時金一万円又は

千円を十回納入

◎有功章社員とは(右と同じ)

- 銀色社員 一時金五万円
- 金色社員 一時金十万円

完納された人には門標、社員証書等が交付されます。

「昭和四十五年度社員増強運動」では皆さんのご協力をいただき、次のような実績でした。厚く御礼申し上げます。

- 一、目標額 一一二、七〇〇円
- 一、実績額 一九二、一一五円 (一七〇・五%)

ご遺族の皆様へお知らせ

死亡公報の補完

通知について

終戦以来はや二十六周年を迎えました。驚異的ともいわれる経済復興を目のあたりにし、振り返って遠く異境の地において、国を想い、家族を案じつつ戦没されました方々のしるべきとき、まことに感無量と申すほかありません。戦没者に対します叙位、叙勲も順調に進ちよくしておりますから、ご

遺族として、あらためて戦没された肉親に思いを馳せておられることと存じます。

最近、ご遺族、戦友団体の戦跡訪問も行なわれ、詳しい戦況等は別としても、せめて戦没した島なり、おおよそ地点ぐらひはぜひ承知したいとのご遺族のご希望に接することが多くなりました。

この時期の戦没者の対象は、全国で旧陸軍関係では昭和二十年一月一日から昭和二十一年六月十四日までの間に発行した死亡公報のもの約二十四万七千件、海軍関係では昭和十七年二月三日から昭和二十二年四月三十日までの間に発行した死亡公報のもの約二十四万一千件であります。対象となる戦没者について、除籍時の本籍の都道府県が死亡公報を補完し、それぞれ通知いたすこととなります。

なお、ご遺族のうち、老齢等により死亡公報の補完の通知を早期に希望されます方、また対象期間外の死亡公報のものであっても死亡場所の細部がわからず、死亡公報の補完を希望されます方は、次のことをあきらかにした死亡公報補完の申立書を、役場(民生課)または青森県民生労働部社会課に提出してください。

記

1. 戦没者の除籍時の本籍、所属部隊、身分(階級)、氏名(生年月日)
2. 死亡公報(死亡通知)等に記載されていた「死亡年月日」と「死亡場所」
3. ご遺族の本籍、現住所、戦没者との続柄、氏名

世界の願い



交通安全

死亡場所につきましては、当時差し上げました死亡公報(死亡通知)によりご承知願っているところではありますが、軍の機密保持等の特殊な事情から死亡場所の細部には触れなかつた時期がありますので国および都道府県におきましては、今後おおよそ五カ年の間にこれらの方々の死亡場所の細部について調査し、あらためてご遺族

世界を走る車は、交通安全を願っています。

漁業組合の創立前後 (抄記)

大石 健次郎

明治三十五年七月一日に漁業法

ができた。郡内各所でも組合が作

られはじめ、三十六年には関根

浜、野牛、大畑などで創立され、

尻芳、石持では産業組合法によっ

て「無限責任漁業共同組合」が作

られた。

こうした気運は佐井にもみなぎ

り、菊池常次、七戸市太郎、岩崎

丑松、若山常太郎、田名部長吉の

五人が発起人となって、十余回も

あつまり、規約、初年度予算など

をつくり、創立総会におよんだ。

第一回事業報告書によれば、創立

総会は明治三十五年七月十二日、

十三日の両日にわたり、最終的に

は三十六年三月二十日に『右之通

り本県知事ニ於テ修正認可セリ』

と発表された。

その規約内容は、第一章総則、

第二章組合員ノ加入及ビ脱退、第

三章理事及ビ監事、第四章会議、

第五章会計、第六章漁業権ノ享有

行使及ビ漁業方法、第七章違約者

処分、第八章解散。明治三十五年

度経費賦課徴収法。規約中変更追

加ノ件。——などで、三十六年三

月二十九日午前一〇時長福寺で臨時

総会をひらいている。役員は理事

三名菊池常次(理事長)、能登繁

太郎、七戸市太郎、収入役一名、

松谷伝四郎、監事二名、若山常太

郎、大坂嘉十郎で、組合員数は創

立当時(三三二名)、その後加入

(三名)、三十七年三月除名(三

名)、転出者(三名)となってい

る。

会計では

初年度収入高五二八円二六銭八厘

支出五二二円五七銭四厘

三十七年三月末基金額一〇円六九

銭四厘

備付品二九点三二円九五銭也

である。

三十七年度(理事長) *大石健次郎*

予算収入二〇二円五〇銭

予算支出一七一円三〇銭

四十三年度(理事長竹本周吉)

決算収入一七八円七〇銭八厘

決算支出一七一円三四銭五厘

四十四年度(組合長太田長太郎)

決算収入二一八円五七銭八厘

決算支出一九一円三一銭

大正二年度(組合長太田長太郎)

明治三十六年に「潜水器使用」

でアワビを採る計画があり、三上

医院に漁場図などを陳列し、自由

に見せた。大坂嘉十郎、浜野仁

作、柳田嘉代吉らの反対の文書が

ある。四十年旧十一月に常信寺で

再び潜水器によるアワビ採りのこ

とで相談会が行なわれた。

明治四十二年十一月福浦前浜

で、田中石蔵が樺太庁水産課投入

の海流調査のビールびんを捨て

とどけ、四十三年に鯨船金華山

丸が三陸沖合から海流びんを投入

し、四十四年に北海道水産試験所

で調査船探海丸から同種のを

投入し、時の組合長から詳しい通

知が各地区へ出されている。

明治四十一年に「鉍毒ノ件ニ付

キ報告」と、鉍毒の海への流出、

ハツパによる岩石飛散と音で魚

族、海藻の被害が大きいことを組

合長竹本周吉、村長小島留彦へ訴

え、四十三年には仙台鉍山監督署

長浅野兼助へ訴願を出している。

鉍山発掘箇所は長浜、沼ノ平の二

ヶ所で『防ぎよ策を講ずるにあら

ざれば悔を百年に残し』などの言

葉も見ら。訴願人は福浦漁師

組合創立前後については、村誌

が発行されたら、尾崎、工藤両先

生のお書きになられたものが御参

考になろう。私も「漁業の今昔」

に少し書いておいたが、諸賢の御

利用となれば幸いである。

総代田中直次郎、同村総代柳田元

八、四三年には田中兼次郎、木下

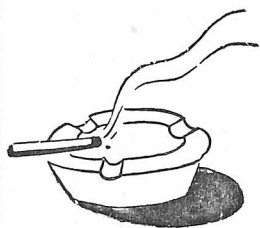
市之丞となっている。

考えるに、佐井村公害第一号に

当る文書ではないだろうか、

註

たばこは村内で 買いましょう



あなたが毎日吸っているたばこは代金の18%が消費税として市町村に納付され貴重な村の財源となっています。旅行や、レクリエーションなどで村内を離れるとき、ご贈答用のたばこはぜひ村内で買ってください。

父のけが

二位 佐小五 辻 淳子

私の父の職業は運送業です。

毎日車に乗っているのです、いつでもどこでどんな事故にあうかわかりません。私はあぶない仕事だといつも思っています。だから、その日その日が何事もなく無事でおわるようにと、心の中で祈るのであります。しかし、私の祈りのかいもなく、父は八月十九日に易国間の山で大けがをしてしまいました。

最初にそのことを知ったのは電話がかかってきた時で、私は机に向っていたし、母はちょうど畑から帰ったばかりでした。

母が電話に出たとき、とつぜん「けがをした？」と大声でき返しました。母の顔色はまっさおに変っていました。私もそばにかけいて電話に耳をかたむけました。

「父さんけがしたの。」と母にきいてみました。「左足の骨がおれて、それも、こなごなに骨がくだけてしまつて。それで今、易国間病院で手当をしている。」ということだけでした。

といっしょに出かけた親せきの人の話では、出血がひどく、易国間病院からむつ病院へ入院したということでした。

父のけがが、続いて弟のやけど、母の手術そして祖父のけが。

私の家では、去年から不幸が次から次へと続いています。

父が入院してから三カ月以上にもなります。たびたび父のみまいにいきますが、その時はえがおで話しかけてくれ、何の心配もないようにむかえてくれます。でも、私にはかえってそんな父の態度がさびしく思えてしかたがないのです。時々「早く家に帰りたい。」という父の言葉からもさびしく、たいくつな毎日であるということ

が想像つきます。父がいなくなつてからの母は全く元気が感じられないし、やっぱりさびしそうです。

私自身も、あんなに働きたつた父のいない毎日が本当にさびしく思います。

私だけになく、家族みんな同じ気持ちです。父のけが以来、私は、事故の本当のおそろしさとはなんだろうと考えてみました。

事故は、家族みんなをさびしさの中におとし入れ、今まで楽しく明るくすごしてきた家庭を暗く、さびしくしてしまうものだと思います。

私は、一日も早く父がよくなつて、もとの体になり、仕事にせいを出し、みんなそろつた明るい家庭になれるように、毎日毎日祈っています。

(一月号の佐中三島野真理子は佐中一の間違いでしたのでおわびして訂正します。)



税金などの払込は下信へ

税金などの払込は役場までわざわざおいでにならなくても、下信へ納額告知書を持参すれば納入できます。

今月の納税

固定資産税 4期
納期限 2月28日

人 口
男 2,500人
女 2,600人
計 5,100人

1,099世帯
46. 1. 1. 現在

税金の申告と納税相談

二月下旬～三月十五日

二月下旬から三月十五日までは、昭和四十五年分の所得税の確定申告と個人事業税の申告期間です。

この期間は、税務署、県税事務

所、役場で協力し、納税者の便宜をはかってなるべく同じ場所です。税の相談に応ずることになっています。

公害の豆知識

公害の中の水質汚濁は、つぎの記号によって表わされます。

PH (水素イオン濃度)

酸性かアルカリ性を表わす単位に使われ、PHのあとに数字をつけて表わします。PH7

が中性で、それより数字が小さくなるにつれ酸性が強くなり、数字が大きくなるにつれアルカリ性が強くなります。

DO (溶存酸素)

水の中に酸素がいくら溶けているかを表わすものです。生物の生存、自然浄化作用のためにも値が大きいほどよいのです。COD (化学的酸素要求量)

水を汚なくする原因となる物質を測定するため、酸化剤を入れてみて、それによって物質が酸化され、酸化物とガス体になると消費する酸素の量を表わすものです。従ってこの値が少ないほど有機物がまじっていないこととなります。

BOD (生物化学的酸素要求量)

CODは薬品(酸化剤)を使って調べる方法ですが、BODは薬品のかわりに好気性バクテリアなど微生物を使い、それに有機物を食べさせ、このとき消費される酸素量を表わすものです。

SS (浮遊物)

水の外見的な濁りのことで、値が大きいほど濁っていることを表わします。

五年中の所得とその税金を計算して、納税する人が申告して納めることになっています。確定申告は事業を行なっている人、自由業の人のほか、サラリーマンでも給与以外の所得が年間五万円以上ある場合は申告しなければなりません。また、天災や火災を受けたり、多額の医療費がかかったため税金を納めすぎになった人も確定申告をしてください。

税務署に確定申告を出した人は、個人事業税および個人住民税の申告は必要ありませんが、確定申告書の「事業税・住民税に関する事項」に該当する人は必ず記載してください。確定申告をしない人でも、個人事業税・個人住民税の申告をしなければならぬ人は、県税事務所または役場に個人事業税または個人住民税について申告してください。

申告書の用紙は、税務署・県税事務所・役場から該当すると思われる人に対して、二月中旬頃までに配付されることになっています。(個人住民税については部落の場合、申告相談日にお渡しします。)申告書の配付されない人も該当すると思われる人は、役場総務課(四番窓口)へお尋ねください。

健康相談室移転のお知らせ

従来大佐井にありました健康相談室は、今度古佐井浜町に移転しました。(木下クリーニング店向い)

血圧測定、乳児の健康相談、妊婦の検診、その他何でもご相談下さい。

民 生 課

戸籍の窓口

1月20日現在

お誕生おめでとう

- 鹿島優子(父晃) 大佐井
- 松谷 聡(父勇助) 大佐井
- 根岸博美(父守) 原 田
- 磯川清志(父菊雄) 古佐井
- 新田義美(父春雄) 古佐井
- 川岸 幹(父一彦) 大佐井

ご結婚おめでとう

- 伝野法 喜美夫(風間浦村)
- 山口辰男(川内町)
- 山部かず子(原 田)
- 木山繁光(古佐井)
- 若山玲子(青森市)
- 原方子(古佐井)
- 宮方子(古佐井)
- 宮方子(古佐井)
- 平沢敏行(矢野)
- 中村春雄(古佐井)
- 徳田うめ子(川内町)

- 川真田 健二(鴨島町)
- 細中 登喜雄(川越市)
- 田中野 京子(福 浦)
- 横 藤 新枝子(原 田)
- 工藤 千枝子(釧路市)
- 福士 美津子(福 浦)
- 福 美津子(青森市)
- 鹿島 桃(勝山市)
- 西島 子(勝山市)
- 伊達 由利子(大佐井)
- 樋口 一子(珠洲市)
- 米田 正美(豊田村)
- 鹿島 よし子(原 田)
- 宮本 敬一(大佐井)
- 宮崎 東一(水戸市)
- 木部 武治(三沢市)
- 佐藤 文雄(川内町)
- 樋口 文雄(川内町)
- 奥 英太郎(大佐井)
- 船橋 光江(平内町)